

東山フィルム株式会社

(武並町) <https://www.hynt.co.jp/>

SDGsの取り組み

清掃と除草活動

定期的に、工場周辺の道路脇の清掃や除草活動を行っています。



積極的な障がい者雇用

運営しているHYNTファームでは、誰もが平等に働く機会が得られるように、障がい者従業員を雇用しています。



二酸化炭素排出量の削減

CO₂フリー電力を導入し、CO₂の排出量を削減しています。2028年までにCO₂排出量を50%減らすこと(2017年比)を目標としています。2022年は30%減の実績で、2023年は40%減の見込みです。

関連するSDGsの目標



SDGsをもっと身近に感じてもらうため、「市SDGs推進協議会」加入団体の取り組みを紹介します。

問 SDGs推進室(内線 421)



フィルムにコーティング加工を施し、新しい機能や付加価値をもつフィルムを作り出しています。恵那工場で作られたフィルムが、世界中のスマートフォンや車のモニターに使われています。



四季を通して 屋外スポーツが楽しめる クリスタルパーク 恵那スケート場



▲恵那スケート場

ウィンタースポーツの季節がやってきたね。今回、エーナは武並町にあるクリスタルパーク恵那スケート場に遊びに行ってきたんだ。ここは、日本で最も西の屋外400メートルスケート場で、冬季シーズンはアイススケート、夏季シーズンはインラインスケートやフットサルを楽しむことができるんだ。今年でオープンして19年目なんだって。



▲二つのリンクがあるよ

そうそう、1月18日(木)から21日(日)には、スピードスケート競技のインターハイが開催されるんだ。市内在住の高校生も出場するからぜひ応援に来てほしいんだ！未来のオリンピック選手が生まれるかもしれないね。

冬季シーズンは、2月18日(日)まで休まず営業するよ。なんと、最終日は感謝イベントで、滑走料が無料になるんだって。恵那スケート場のイメージキャラクター「クリス」もみんなの来場を待っているんだナ！



▲たくさん遊びに来てね！

9 問 恵那スケート場 28-33

無料経営相談を利用ください

センターでは、経営に関する悩みのお手伝いをします。起業に関することや助成、補助金の活用、オンラインショップやSNSの活用などの相談ができます。「何をしたいか」「どうになりたいか」をしっかりと理解した上で最適なアドバイスができるよう、一緒に考えます。

山口仁美 火 第3

県よろず支援拠点コーディネーター



ネットショップ開設、運営

ネットショップ運営経験を生かし、オンラインショップの構築や売り上げ拡大のサポート、SNS活用を得意としている。

篠田里恵 火 第2・第4

県よろず支援拠点コーディネーター



IT活用

通販サイトなどの制作経験を生かし、ウェブサイトやSNSを活用した売上拡大、個人創業のサポートを得意としている。

加藤久徳 金

リリクス経営労務事務所代表



事業計画、補助金など

経営労務の視点を生かし、新規事業の立ち上げから、助成金の活用、業務改善まで幅広く支援。

蟹江信幸 火 水

県よろず支援拠点コーディネーター



事業再生、資金繰りなど

事業再生支援のための経営改善計画策定や資金繰りなど、中小企業の課題解決を得意としている。

物知り先生のふるさと情報

(三好学博士執筆)

「孤高の植物学者」三宅勝義さん(東野)

第十話 近代植物学の開祖と自然保護の先駆者

「桜の博士」に続き第二、第三の学の功績とは

その昔、人類は狩猟と植物の採集で命をつないできました。大概の動物は食べられますが、植物はそんな訳にはいきません。人間にとって毒になる植物も結構多いものです。

奈良時代、中国から本草学という学問が日本に入ってきました。これは、その植物が人間にとって良いか悪いかを分別(グループ分け)する初步的な分類学です。時代と共に少しずつ進化しながら本草学が続き、江戸時代には、食物だけでなく、人間の薬になる植物の分別が主になりました。

明治時代、学はドイツのライプツィヒ大学へ留学し、そこで学んだ「植物生理学」と「植物生態学」を日本へ持ってきました。植物生理学は、植物そのものの特性を研究するもので、植物生態学は、植物と環境との関係を研究するものです。これまでは全く違う植物学の分野です。学は、ドイツ留学から帰国すると東京帝国大学の教授になり、植物生理学、植物生態学の第一人者として

研究に取り組みました。これら、新しい二つの植物学を「近代植物学」と言い、最初に日本で広めた学は、「近代植物学の開祖」と呼ばれました。これが学の第二の功績です。

そして、植物生態学を究める中で、学が最も懸念したのは、環境の破壊でした。明治時代以降の日本は、急速な近代化で環境破壊が進んでいました。「植物を守るためには、環境を保全する必要がある」と、自然保護活動に取り組むようになりました。そして、失われていく稀少植物の保護のため、天然記念物制度を法制化することにも尽力しました。今でこそ自然保護は大切にされていますが、その先駆者は学です。「自然保護の先駆者」であることが学の三つ目の功績です。



▲学が天然記念物調査に来た三郷町の亀ヶ沢のハナノキ原生地

ちなみに、レベルの高い分類学を大成させたのは、牧野富太郎です。

